

音楽科学習指導案

日 時 2005年11月25日(金)
 生 徒 東陵中学校2年A組 34名
 授業者 岩崎 恭子

1. 単元名 リコーダーアンサンブルを楽しもう
 アルトリコーダー「大きな古どけい」

2. 単元について

中学校に入学し、器楽ではアルトリコーダーに取り組んできた。小学校のソプラノリコーダーとは指使いも異なり戸惑う生徒もいたが、1学年では基礎的な奏法や運指を覚え、曲も吹けるようになってきた。

器楽には苦手意識を持つ生徒もいるが、「大きな古どけい」という生徒も良く知っている曲を選び、意欲的に取り組めるように考えた。また、上下のパートに分かれてペアで練習を行うことによって、協力しながら練習に取り組み、お互いの音を聴きながら合わせた時の美しさ、楽しさを感じられるよう支援していきたい。

3. 指導計画

	学 習 活 動	評価基準
第1時	<ul style="list-style-type: none"> ・アルトリコーダーの奏法、指使いを復習する。 ・「大きな古どけい」を聴き、メロディーの流れをつかむ。 ・ト長調を理解し、#ファの指使いができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲に関心を持ち、意欲的に聴いているか。 ・ト長調を理解し、#ファの指使いができたか。
第2時	<ul style="list-style-type: none"> ・上のパートのメロディーを練習する。 ・高いレの指使いができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・練習に積極的に取り組んでいるか。 ・高いレの指使いができたか。
第3時 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・下パートのメロディーを聴き、流れをつかむ。 ・#ドの指使いができるようになる。 ・ペアを決め、協力しながら練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・#ドの指使いができたか。 ・協力しあって練習に取り組んでいるか。
第4時	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアごとに、演奏を発表する。 ・他のペアの演奏を鑑賞する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の音と合わせ、美しいハーモニーができていたか。 ・他のペアの工夫や良さを感じ取ることができたか。

4. 単元の目標

- ・アルトリコーダーの新しい指使いを覚え、上下のパートを吹くことができる。
- ・ペアで協力しながら練習に取り組み、相手の音を聴きあいながら美しいハーモニーを作ることができる。

5. 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・#ドの指使いができ、下パートが吹けるようになる。
- ・ペアで教えあいながら練習に取り組む。

(2) 本時の展開

学 習 活 動	教師のかかわり
<ul style="list-style-type: none">・「大きな古どけい」の上パートを復習する。・下パートを復習する。・本時の学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none">・前時までの学習の流れを振り返り、本時の学習に対する意識を高める。
<ul style="list-style-type: none">・#ドの指使いができ、下パートが吹けるようになる。・ペアで教えあいながら練習に取り組む。	
<ul style="list-style-type: none">・下パートの範奏を聴き、メロディーをつかむ。・#ドの指使いを覚え、できるようになる。・下パートの練習を、ペアで教えあいながら進める。・全体で下パートを吹く。・時間があれば、上下に分かれて合奏する。	<ul style="list-style-type: none">・#ドの指使いができているか、全体を確認する。・机間巡視しながら必要に応じて声をかける。・良くできていた所を伝える。

(3) 評価

- ・#ドの指使いができ、下パートが吹けるようになったか。
- ・ペアで教えあいながら練習に取り組むことができたか。